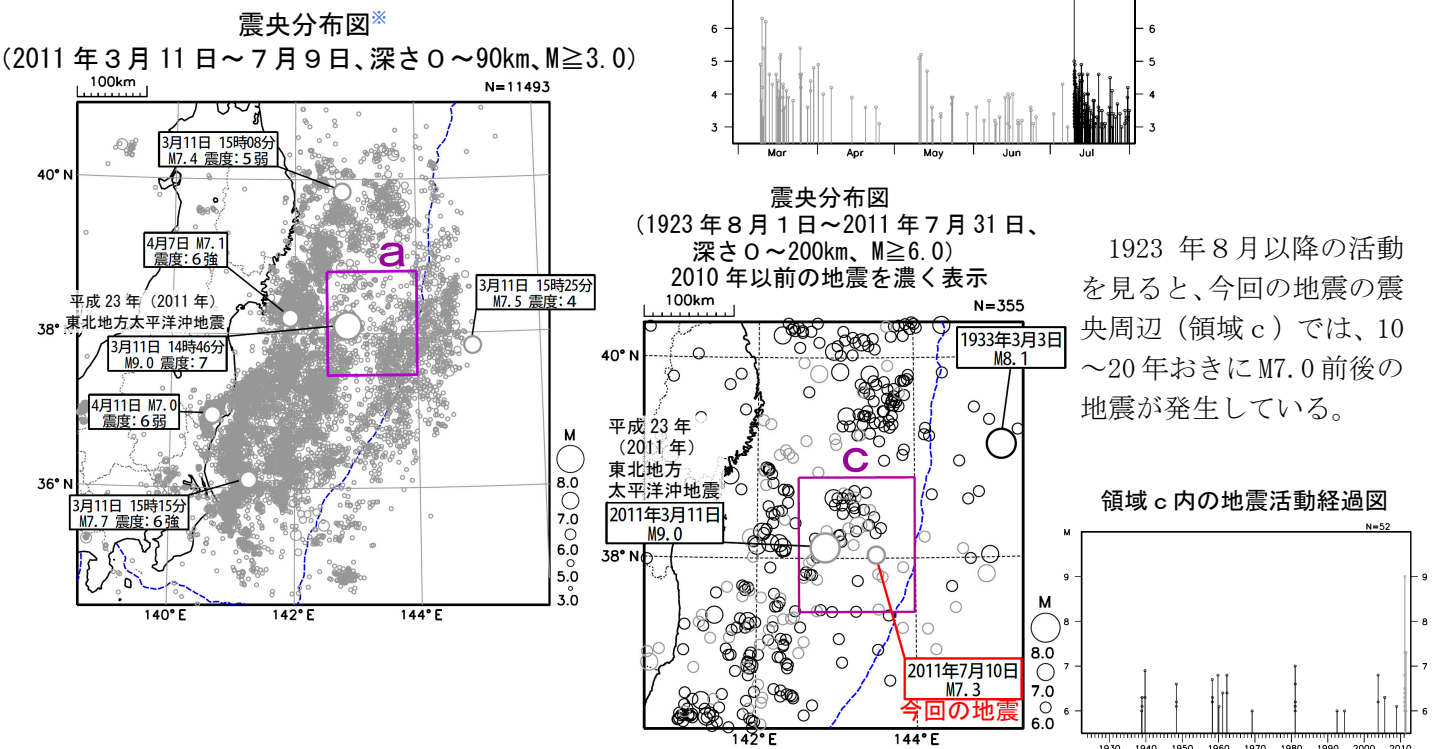
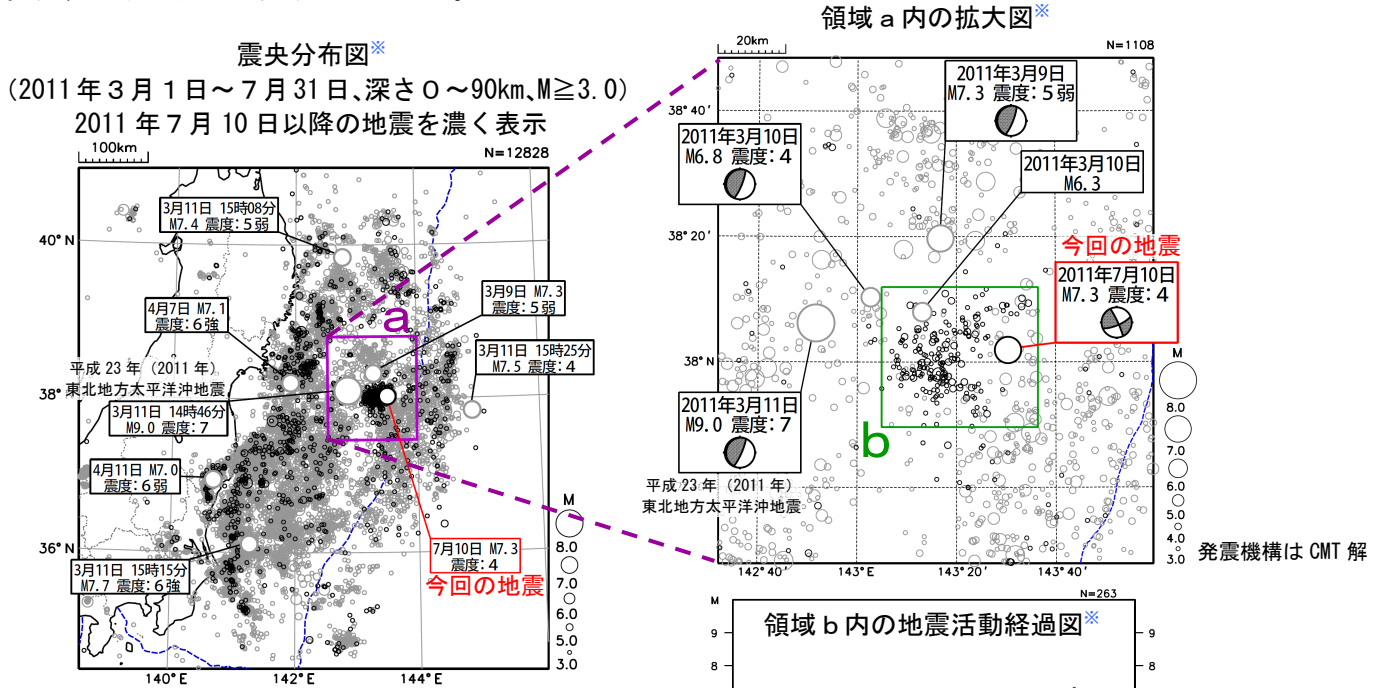


# 7月10日 三陸沖の地震

2011年7月10日09時57分に三陸沖でM7.3の地震（最大震度4）が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は西北西－東南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、太平洋プレート内部で発生した。この地震について、気象庁は同日10時00分に岩手県、宮城県、福島県に対して津波注意報を発表した（同日11時45分解除）。この地震により観測された津波の最大の高さは仙台港の12cm（速報値）であった。

この地震は平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震の余震域内で発生した。余震域内でM7.0以上の地震が発生したのは4月11日の福島県浜通りの地震（M7.0、最大震度6弱）以来である。今回の地震の震央周辺（領域a）には本震の震央や3月9日のM7.3の地震及びその余震の震央があるが、余震域内のほかの場所と比べると、これまで余震活動は低調であった。

7月10日のM7.3の地震の発生後、この地震の震央付近（領域b）では地震活動が活発になったが、7月末現在、活動は徐々に低下しつつある。



\*2011年3月11日～5月30日は未処理のデータがある。